

豊橋市民病院 感染症病棟を開設します

豊橋市民病院は、東三河で唯一の感染症病床を有する第二種感染症指定医療機関として新たな感染症の発生に備えるため、病床10床を有する感染症病棟を建設し、4月19日から供用開始します。



感染症病棟（外観）



病室

【施設概要】

延床面積：908.43㎡、構造：鉄骨造平屋建

設備等：病室10室、診察室、エックス線撮影室、スタッフステーション等

事業費：約13億円、工事期間：令和4年11月～令和6年2月

ポイント① 病室全てが陰圧の個室

10床の病室は、全て完全個室で、病室内のウイルス等が室外に流出しないよう室内の気圧を低くするための陰圧装置を設置し、院内感染リスクの低減を図りました。

ポイント② 病棟内にエックス線撮影室を設置

一般の病棟から分離し、病棟内にエックス線撮影室を設置することで、一般の患者が利用する機器を使用することなく検査を行うことができます。

ポイント③ 異なる感染症患者を同時に受入可能

病室のほか、廊下やスタッフステーションなど、それぞれの気圧を個別に管理し、空気を制御することができる空調設備の導入により、異なる感染症の患者を安全に同時に受け入れることができます。

【しゅん工式／内覧会】 日時 令和6年4月19日（金）9時00分～10時00分

会場 感染症病棟前（別添図面をご参照ください）

参加者 約30人

※事前申込みなしでご取材いただけます

問合せ 豊橋市民病院管理課 課長補佐 鈴木（電話 33-6275）



SDGs 未来都市

豊橋市



しゅん工式の会場は、以下のとおりです。

